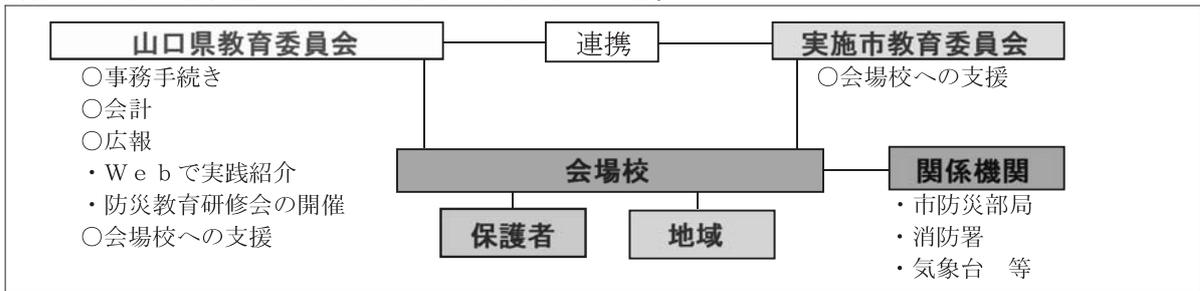


1 趣旨

本県で発生が想定される大規模災害（地震津波・台風高潮・土砂災害）に対応した防災訓練や避難所生活を想定した宿泊体験、炊き出し訓練、救急救命訓練等を含む総合的な体験学習を実施し、児童生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。

2 実施体制

平成 25 年度から、国の委託事業として実施している。



3 実施状況

岩国市大規模災害対応訓練

- ① 実施期日：平成 26 年 8 月 2 日（土）・3 日（日）
- ② 実施場所：ほんごう保育園、本郷小学校、本郷中学校、本郷ふるさと交流館
- ③ 参加者：ほんごう保育園園児 8 人、本郷小学校児童 11 人、本郷中学校生徒 12 人、教職員 23 人
保護者 19 人、本郷地区住民 40 人、岩国市教委 1 人、県教委 1 人
- ④ プログラム

	14:20 15:00	17:00	18:30	20:00	21:30	6:30	8:00	9:00	11:00	11:30	
避難訓練	【活動】 ○児童生徒が作成した「防災マップ」を地域に配付	【研修Ⅰ】 非常時応急給水訓練 夕食準備（備蓄食）	食 事	【研修Ⅱ】 ○災害救助について学ぶ ・119 番通報訓練 ・応急処置方法	寝 床 作 り	就 寝	起 床 ・ 朝 食	会 場 片 付 け	【防災授業】 ○土砂災害に備える ・土砂災害とは？ ・実験 ・ハザードマップ調べ	振 り 返 り	保 護 者 の へ 引 き 渡 し 訓 練

台風 12 号の影響による雨の中、中学生が小学生を列の前にはさみ援助しながら、学校から 300m離れた二次避難場所へ安全に避難をしました。

1学期に小・中学生が合同で作成した「防災マップ」を、自分が住んでいる地区に配付しました。

岩国市水道局の職員の方から非常用給水バッグの使用方法を指導していただき給水車から2日分の水6リットルを給水バッグに入れました。

下関市大規模災害対応訓練

- ① 実施期日：平成 26 年 8 月 26 日（火）・27 日（水）
- ② 実施場所：豊浦小学校、長府中学校体育館
- ③ 参加者：豊浦小学校児童 26 人、長府中学校生徒 18 人、県立長府高等学校 6 人、教職員 29 人
保護者 4 人、長府地区住民 17 人、下関市教委 5 人、県教委 1 人

④ プログラム

	13:00	14:00	15:00	17:00	19:00	20:00	22:30	6:00	8:30	11:30	12:00
避難訓練	【防災授業】 ・長府地域の災害の歴史及び台風高潮の発生メカニズムを学ぶ	【研修Ⅰ】 ○防災グッズ製作 ・ランタン ・雨ガッパ ・紙食器	【研修Ⅱ】 非常時 応急給水 訓練 夕食準備 (備蓄食)	食 事	【研修Ⅲ】 子ども熟議 「災害発生時に自分たちができること」	寝 床 作 り	就 寝	起 床 ・ 朝 食	【研修Ⅳ】 ①応急措置 ②心肺蘇生・AED ③ロープワーク	閉 会 行 事	保 護 者 へ 引 き 渡 し 訓 練

防災アドバイザーの指導のもと、アルミ缶を利用したランタン、ゴミ袋を利用した雨ガッパ、新聞紙を利用した紙食器を製作しました。



下関市防災安全課の職員に、段ボールを使った生活スペースづくりを指導してもらい、みんなで協力して寝床を作りました。



東消防署署員に、心肺蘇生・AED訓練、応急措置・担架搬送訓練、ロープワークを指導していただきました。



長門市大規模災害対応訓練

- ① 実施期日：平成 26 年 10 月 6 日（月）
- ② 実施場所：三隅保育園、明倫・浅田小学校、三隅中学校、三隅公民館
- ③ 参加者：三隅保育園園児 85 人、明倫・浅田小学校児童 256 人、三隅中学校生徒 139 人、教職員 57 人、三隅地区住民 8 人、三隅支所職員 4 人、長門市消防署職員 2 人、長門市防災危機管理課職員 2 人、長門市教委 1 人、県教委 1 人
- ④ プログラム

	9:30	10:00	10:10	13:45	15:15	15:50
避難訓練	講 評	通常授業	【研修Ⅰ】 ○地震・津波発生メカニズムを学ぶ ①実験・観察 ②講話・緊急地震速報訓練等	【研修Ⅱ】 ○備蓄食の試食 ・アルファ化米 ・カンパン、ビスケット ・保存水（5年）		

下関地方気象台の職員から、地震・津波の発生メカニズムと対応について詳しく学ぶとともに、緊急地震速報による初動避難訓練を行いました。



※ 長門市大規模災害対応訓練は、台風 11 号の接近のため日程・内容を変更して実施しました。

4 成果と課題

【成果】

- 段ボールの寝床を使った体育館での宿泊体験や備蓄食の体験、心肺蘇生訓練、AED訓練、防災用品の製作等の様々な体験を通して、参加した子どもたちの避難所生活や防災に関する知識・技能の習得及び意識の高揚を図ることができた。
- 大規模災害時の避難や避難所運営について、学校・保護者・地域・関係機関等（消防、警察、市町防災部局等）との連携体制や協力体制づくりに関するノウハウが関係者間で共有できた。

【課題】

- 大規模自然災害に対応するためには、学校・保護者・地域・関係機関等がしっかりと連携していく必要がある。このような取組が県内全域で実施されるよう啓発に努めたい。

「地域協育ネット」
推進に係る関連事業等